

豚コレラを疑う症状は直ちに通報を！

豚コレラ・アフリカ豚コレラの特定症状が定められました。以下のいずれかの症状を確認したときには直ちに当所に通報するとともに出荷の自粛をお願いします。

※現在流行中の豚コレラについて、一部農場で通報が遅かった可能性が指摘されています。

◆豚コレラの特定症状(以下のいずれかの症状)

- 耳翼、下腹部又は四肢等に紫斑があること。
- 同一の畜房内において、概ね一週間程度で複数の家畜に以下の症状が増加していること。

- ① 40℃以上の発熱、元気消失、食欲減退
- ② 便秘、下痢
- ③ 結膜炎(目やに)
- ④ 歩行困難、後躯麻痺、けいれん
- ⑤ 削瘦、被毛粗剛、発育不良(ひね豚)
- ⑥ 流死産等の異常産
- ⑦ 皮下出血、皮膚紅斑、天然孔からの出血、血便

※ただし、他の疾病や設備の故障、気温の急激な変化、非常災害等豚コレラ及びアフリカ豚コレラ以外の事情によるものであることが明らかかな場合は、この限りでない。

- 同一の畜舎内において、概ね一週間程度で複数の繁殖豚又は肥育豚が突然死亡すること。

◆対象家畜：豚及びいのしし

- ◆特定症状を呈している家畜の届け出義務<家畜伝染病予防法第13条の2より>
- ◆特定症状が確認された場合の早期通報並びに出荷及び移動の停止<飼養衛生管理基準より>

愛知県養豚場で死亡した豚を農場内で焼却していた事例が確認されています。無断で家畜の死体を焼却・埋却しないで下さい。

その他の情報

- ・岐阜県で豚コレラ10例目発生 ・ベトナムでアフリカ豚コレラ発生、拡大中。
- ・農水省は豚コレラ感染いのししが確認された地域に限定して野生イノシシに対する経口ワクチン使用を決定

豚コレラの特徴的な症状



耳翼の紫斑

(1)



結膜炎

(2)



元氣消失・うずくまり

(3)

◆急性型
(甚急性～急性) 日齢に関係なく、10～20日以内に死亡

◆慢性型
(亜急性～慢性)
致死亜型
回復亜型
不顕性亜型
発症回復を繰り返した後、発育不良(ヒネ豚)となり、多くの場合30日程度で死亡

●遅発性型
垂直感染により、胎仔が免疫寛容になることにより起り、抗体は産生されない

(4)

潜伏期：3～21日(30日)

(1)(2)農水省HP
(3)(4)農研機構HP より引用

見落としがちな初期症状
食欲不振、元氣消失、流産増加 等

京都府南丹家畜保健衛生所
TEL:0771-42-3308(夜間・休日も連絡可能)